

往診のご案内

当院では、お体をご不自由で眼科まで足を運べない患者様に対して、往診をさせて頂いております。ただし、往診で使用する持ち運び用の診察器械では、正確な診断が困難な場合もあり、外来と同じ検査が全て出来る訳ではないことをご了承下さい。

下記の要領で実施しておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



写真左＝往診の様子
写真右＝往診セット

1
Information

対象の方

寝たきりの方、足腰がご不自由で一人での移動が困難な方、病気がちで一人暮らしの方など。

2
Information

往診範囲

基本的には神戸市須磨区内ですが、相談に応じます。今後ともよろしくお願いします。

3
Information

往診日・時間

月・火・水・金曜日：
午後1時30分～2時30分
(休憩時間を利用)
木曜日：
午後1時30分～5時30分
(午後診休診のため)

手続き

往診は予約制ですので、来院時またはお電話**078-732-0091**にてお申し出下さい。

受付を済まされた後、日程については、ご家族と相談の上で調整を致します。

往診日が決まり次第、ご自宅にご連絡を入れさせていただきます。

お会計と処方箋の受け渡しは、ご自宅での診察が終わった際に致します。※往診料は、保険診療に含まれております。

当院の待ち時間対策

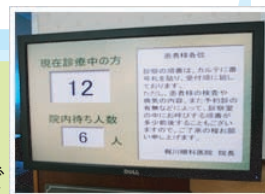
医療機関を受診される患者様の不満として大きいのは、やはり待ち時間の長さです。

当院では、患者様から頂いた待ち時間に対する要望を真摯に受け止め、患者様のご負担を少しでも軽減したいという思いから、診察の順番が解る表示や携帯電話サービスを昨秋から開始致しました。

Nice
1

診療順番ディスプレイ

受付横に発券機表示モニターを設置し、**診療中の番号**と**待ち人数**がリアルタイムで**分かります**。番号札は、受付の際にスタッフがお渡しします。ので、診察が終わってから会計の際にスタッフへお返しして頂くか、カウンターに置いてある番号札箱にお入れになって下さい。



診療順番ディスプレイや携帯電話で待ち番号が分かるので、今までのように**待合室で待たなくても良くなり、受付後の外出**が出来ます。

あらかじめ当日の**混雑状況を確認してから受診**をすることも出来ます。

「待たされた」という苦痛より「きっちりと診て貰った」「親切・丁寧にして貰った」という満足感が上回り、また診察までの待ち時間のご負担を少しでも軽減出来るように職場全体で対応を致します。

Nice
2

お知らせメール

患者様の**診療順番が近付くと、携帯電話にメール**が自動的に送信されます。

Nice
3

診療順番WEB

診療の混雑状況をリアルタイムに**携帯電話で見ることが出来ます**。これらのサービスを受けるためには、患者様ご自身での登録作業が必要です。詳しくお知りになりたい方は、受付までお申し出ください。

親切・丁寧・笑顔がモットー

梶川眼科医院 情報誌 (年4回季刊発行)

瞳きらきら通信

Tel 078-732-0091 兵庫県神戸市須磨区前池町3-4-1

2011
7
vol.1



院長ごあいさつ

昨年11月、患者様への情報発信のために、当院ホームページをリニューアルしました。しかし、この方法では特に長年通院してくださっている患者様にはお役に立てていないように思われます。そこでニュースレターを活用し、当院のことをもっと身近に多くの方に知って頂きたいと思い、季刊で「瞳きらきら通信」を発行することに致しました。

当院は、昭和38年6月にこの板宿で初代院長である父・一平が、梶川眼科医院を開業。平成5年5月から私が院長を継承し、親子二代の長きにわたり患者様から信頼される「眼科かかりつけ医」として地域医療に貢献すべく努力してまいりました。



院長 梶川大介

眼科専門医に認定されている院長が、眼科一般診療に十分対応できるように検査機器などを整え、特に緑内障診療とドライアイ診療には力を入れております。

「来院して良かった」「是非また来院したい」と患者様に思ってもらえるように心のこもった医療が提供できる眼科医院を目指しています。

私たちは、「親切」「丁寧」「笑顔」をモットーにチームワークを大切にし、患者様の役に立つ、喜んで頂くという気持ちを持って仕事に取り組んでいます。外来診療において院長・スタッフと患者様との接する時間は、ほんのわずかです。その限られた時間の中で患者様との信頼関係を構築するために日々努力しております。

このニュースレターが、その役割の一端を担えるようにしたいと考えています。院長の思いや考え、スタッフの素顔、職場での取り組みなどをお伝えすることで患者様に愛着をもって頂いたり、より緊密なコミュニケーションが作り上げられるのではないかと思います。また、眼科かかりつけ医として少しでもお役に立てる情報を提供していくつもりです。

お読みになった感想やご意見などを頂ければ嬉しい限りです。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

コラム数珠つなぎ



今回は、院長・梶川大介 がお届けします！

スタッフや院長のコラムを紹介するコーナーを設けました。一番手は、まず院長から。阪神大震災の年から始めたマリンアクアリウムは、かれこれ16年になります。当時は、海水魚やサンゴの飼育も全く上手くいきませんでしたが、今ではミドリイシの成長を目の当たりにすることが出来るようになり、自分の海の世界を楽しんでいます。水槽の管理は、業者任せとされている患者様が多いのですが、換水以外の餌やりや苔掃除などはすべて自分でやっています。「水槽を見ていると、心が安らぐような気持ちになります。」などの有難いコメントをよく頂くので、患者さんに喜んで頂けるようにこの趣味を末長く続けていくつもりです。



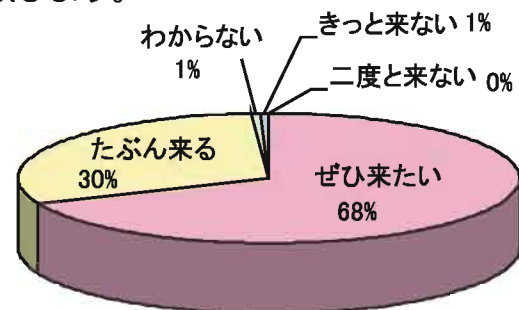
第2回患者アンケートのご報告

平成23年3月に患者様の満足度向上を目的としたアンケート調査を行いました。多くの方(無作為に抽出させて頂いた患者様300名のうち回答者168名)にご協力を頂きまして誠にありがとうございます。アンケート結果を集計しましたので、その主なものについてご報告を致します。

当院への再来意識

問)また何かあれば当院へ来て頂けますか？

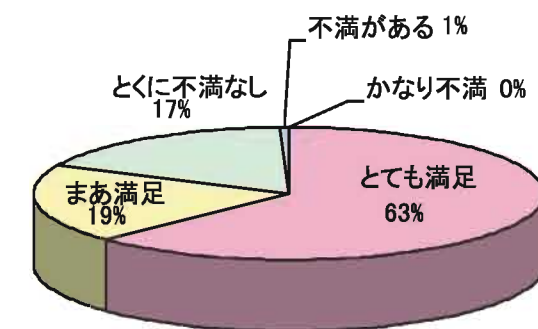
「ぜひ来たい」という回答が、昨年の52%から68%と大きく上回りました。



受付の対応

問)受付の対応はいかがでしたか？

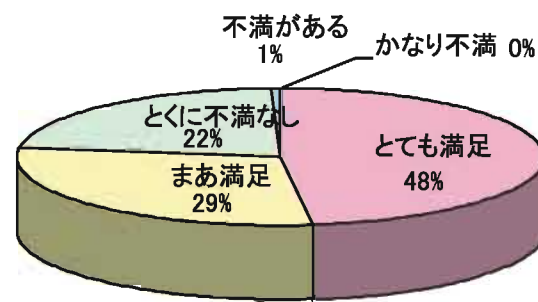
「とても満足」という回答が、昨年の44%からこの度は63%と昨年より上回り、「笑顔と言葉遣いが特に良い」「とても優しく対応してくれる」「対応が丁寧で親切」「職業意識を感じる」などお褒めのコメントを多数頂きました。一方で「人によって対応が違う」などのコメントもありました。



看護師・診療助手の対応

問)看護師・診療助手の対応はいかがでしたか？

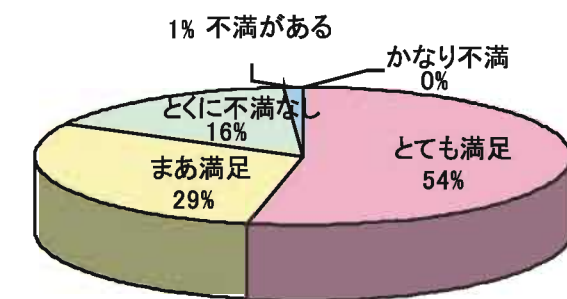
「とても満足」という回答が、昨年の34%から48%と昨年より上回り、「対応の言葉遣いも明るく丁寧で、感じが良い」「活性的な職場と感じる」「プロとしての姿勢があり、安心出来る」「皆様とても優しく親身になって対応してくれる」などお褒めのコメントを多数頂きました。一方で「特に会話もなく事務的な感じ」というコメントも寄せられました。



医師の診断や治療・説明

問)医師の診断や治療・説明には納得し安心できましたか？

昨年は38%の患者様から「とても満足」という回答を頂き、この度は54%と上回りました。説明が解りやすくて的確というコメントもたくさん頂戴しましたが、「現状の説明はするが、今後どうすべきかどんな治療をすべきか言わないので不満」などのコメントも少数ですがありました。



2回目の患者満足度アンケート調査でしたが、患者様から心温まるお言葉をたくさん頂戴し、院長を始めスタッフ一同本当に感謝しております。前回の反省を踏まえて、一人一人がしっかりと自分の役割を理解し行動したことにより、当初掲げていた目標は待合室の満足度を除いて上回りました。

前回と比べて、患者様から良い評価を得られたことは、私たちの大きな励みと自信になりました。

一方、少数ではありましたが、お叱りのお言葉やご要望もあり真摯に受け止めております。患者様のニーズにお応え出来るように絶えず問題意識や向上心を持ち、一人でも多くの患者様に「当院へ是非また来たい」「来て良かった」と思ってもらえるような医院作りを目指し日々努力致します。

親切・丁寧・笑顔をモットーに"チーム梶川"一同、頑張っていきますので今後とも宜しくお願いします。

院長の健康コラム

ウィルス性結膜炎

6月に入り、学校ではプールも始まります。夏場は、ウィルス性結膜炎の流行シーズン。ウィルス性結膜炎は、ウィルスの感染によって結膜の炎症が起きる病気です。

3種類のウィルスが主な原因です。

- (1)流行性角結膜炎(はやり目)：アデノウィルス8型・4型・37型・19型感染
- (2)咽頭結膜熱(プール熱)：アデノウィルス4型・3型感染
- (3)急性出血性結膜炎：エンテロウィルス70型感染

いずれも感染力が強く、目をこすった手やタオルを介して他の人にうつります。空気感染ではうつりません。家族や学校で感染が広がると、集団感染を引き起こすこともあります。



こんな症状には注意！

- 目やにが出る
- 目が痛い
- 目が充血する
- 異物感がある



予防がもっとも大切！

はやり目は、流行性つまり他に人にもうつります。

そのためには、かかった人は他の人にうつさないように次のことに注意して下さい。

注意1

点眼するとき以外は出来るだけ目に触らないようにする。もし触ったら、その都度水を通して石鹸で手をよく洗うこと。

注意2

目に触れた綿やティッシュペーパーなどはビニール袋などに入れ、他の人が触らないようにして捨てる。

注意3

充血・目やに・流涙などの症状が強い間、お風呂は控え目にし、首から下だけで一番最後に入るようにする。

注意4

患者さんの洗面用具・タオルなどは、家族のものと別にする。

注意5

医師に指示により、通勤・通学は急性期には休む。また、医師の許可があるまでプールには入らない。



治療方法

この病気に有効な点眼薬は、いまのところありません。感染したウィルスに対する免疫が出来るまでに時間を要し、治るまでに2週間かかることもあります。

ウィルス感染により細菌感染もしやすくなるために抗菌点眼薬、炎症を抑えるためにステロイド点眼薬などを使用します。点眼をしたからといって、すぐに良くなる訳ではありません。また、毎日通院する必要はありませんので、医師の指示した日に受診して下さい。

